

対象者	(ふりがな)	こくさいまいくろしゃしんこうぎょうしゃ かいちよう もりまつよしたか
	氏名又は企業等の名称	(株) 国際マイクロ写真工業社 会長 森松義喬
	現住所	〒162-0833 東京都新宿区笹笥町 4-3 (本社)
	電話番号	会長: 090-3104-2565
	生年月日又は創立日	1962/1/1創立 メール
個人の履歴、又は法人の概要	<p>●(株) 国際マイクロ写真工業社 会長 森松義喬 (2021年8月現在)</p> <p>◆日本複写連 青年部創設 ◆東京中小企業家同友会 青年部創設 ◆関東イメージ業連合会理事 等</p> <p>1962年 創立 創業者 森松幹雄(森松義喬の父親)</p> <p>1985年 同社 入社 森松義喬(創業者の子息)</p> <p>1987年 同社 社長代理 森松義喬(父である創業社長が脳梗塞、25歳で社長代理となる)</p> <p>1995年 同社 代表取締役社長 森松義喬(二代目社長)</p> <p>2020年 同社 代表取締役社長 森松久恵(三代目 現社長) 森松義喬の実妹</p>	
観点 該当例	<p>観点 該当例</p> <p>●社会性: ・様々な主体の社会参加を促す、助ける活動を行っている ・有益なアイデアの実現や、サービスの提供を行っている</p> <p>●発展性: ・当該活動の分野、業種において模範となる先進的な取組を行っている ・有益な活用方法の普及に寄与している</p> <p>●継続性: ・長期にわたり当該活動を行っている ・継続性のある仕組みづくりに寄与している</p>	
社会性	<p>社会性: ・様々な主体の社会参加を促す、助ける活動を行っている ・有益なアイデアの実現や、サービスの提供を行っている</p>	
	<p>●有益なアイデアの実現や、サービスの提供: 国際マイクロ写真工業社の実績:</p> <p>※1 国家アーカイブズ機関の「実績」は現在 国内最多となる。</p> <p>https://kmsym.com/bunken/mituori2016.pdf ※1 </p>	
	<p>●社会参加を助ける活動: 中央官公庁の情報アーカイブズ機関へ: 「仕様書」(アナログ情報のデジタル化)の作成補助・お手伝いを実行。</p> <p>「仕様書」の官公庁による作成の段階より、入札時に配布する「仕様書」作成に関する情報を先駆けて提供。 又、各アーカイブズの閲覧者複写代行の「デジタル化: デジカメやブックスキャナ等サービス」の選定。</p> <p>※2 事例: 外務省外交史料館様の複写料金表 (防衛省戦史部・東大史料編纂所等 多数)</p> <p>https://www.mofa.go.jp/mofai/annai/honsho/shiryo/pdfs/fukusha_t.pdf ※2 </p>	
	<p>◆サービスの提供(目標を含む):</p> <p>※3 「SDGs」の国際マイクロの取組み:</p> <p>https://www.kmsym.com/bunken/sdgs/sdgs.html ※3 </p>	
<p>◆サービスの提供:</p> <p>※4 先駆けた当社HPの「参考文献」:</p>		

	https://kmsym.com/bunken/itiran.htm	※4 
	◆社会参加を助ける活動 含む: ※5 当社HP「他社との違い」内の「マスコミ評価の違い」: https://kmsym.com/iitai/houdai.htm#t5	※5 
発展性	発展性: ・当該活動の分野、業種において模範となる先進的な取組を行っている ・有益な活用方法の普及に寄与している	
	●模範となる先進的な取組: 中小企業のデジタル化の啓蒙: 森松義喬は所属していた各組合の青年部、特に関東複写連の青年部（青年社長の会）の創設に関わり、デジタル化業務の有効性と品質管理ISO9001・ISO27001等の取得の推進とその強化を実行。媒体変換業者として当然あるべき管理体制（社会的存在価値）、その意義を唱え続ける。 森松義喬は1995年に国際マイクロの「HPを立ち上げ」を自ら開始。 （事前にパソコン通信・・・マイトークを購入してWEB公開を準備していた） 掲載情報（国内外の情報）を整理し、その情報の「参照の許可」を得られたものだけに限り、HPプロバイダー等にUP。それらの内容をお客様・デジタル関連業者等へいち早く公開する。現在も最新のSNSによる公開等を始めている。	
	●模範となる先進的な取組: 唯一無二の当社の技術力: 「デジタル化」に実際に携わり、現場のユーザーと共に創意工夫を実行する当社が国内デジタル化企業の指標となるべく開発等も実現。 国家プロジェクトの国立国会図書館 大量電子化プロジェクトを「外注なく対応した」組織、国際マイクロは、世界中に無い 唯一無二 のデジタル化の技術力とノウハウ、実績を持つ。 中央官公庁・大学関連・研究所関連等所有の「貴重な記録」の大量デジタル化の「仕様書作成」の時点で先駆けての提案を多く行い、実力ある会社によるデジタル化作業に貢献。 ※6 実績：官公需適格組合で落札・国立国会図書館資料 大量電子化プロジェクト https://kmsym.com/top/koltukai.html	※6 
	●模範となる先進的な取組: お客様からダイレクトの「ニーズ」に対応: 大企業の下請けではなく、直受けで可能になる最たる長所は、ニーズの聴衆・取材力。 1962年創業以来、お客様方の希望・依頼・不満などには創業者から受け継いだ「不可能を可能とする姿勢で仕事に望む」経営理念を遵守。 お客様のご要望やご希望のすべてを絶対に拒絶せず 「研究してみましょう・宿題とさせて下さい」と「必ず一度受け入れる」 その 姿勢を貫いていることが多くの同業他社よりも極端にこだわる経営方針であり、現在も将来も実行してゆく。 そのため、様々な研究開発が必要。最新機材の購入だけではなく、その改良・開発等を絶えず行う形となるため、社内で挑戦したものは多数、今後挑戦する「チャレンジシート」の項目はニーズ・シーズを含めると200件以上。毎々それらが増加してはより良い「解決」へと繋げる。 東京都新製品開発助成金等も三回以上合格。所属する首都圏ソフトウェア共同組合による各ソフトの開発者に、様々な業種のサポートを戴きながら 可能な限り、お客様のご要望に応えるための「技術開発」に対応。 ※7 開発の一部 大型絵図撮影・貴重洋書30度撮影機（産総研との共同研究）等 https://kmsym.com/dsystem/menu/dcame/dcame.htm#n	※7 

●模範となる先進的な取組:

最先端情報で動けた「古文書デジカメ撮影の技術」:
2つ★の理由。

★国文学研究資料館様の古文書デジタル化実験において、当時高価なデジタルカメラ撮影を国文学研究資料館様が購入。当社のみが専属で借用させて戴く「パイロット実験担当会社」としてご指名を戴けた為。

★1996年当時 1200万画素の一眼レフのデジタルカメラが百数十万円と高価な時代に「下記対応」。

記
1996年当時「古文書のデジタルカメラ撮影」の国内最先端の事例として、
1997年 全国歴史資料利用保存連絡協議会の全国大会(香川県)において歴史学大学教授で最先端を走っている 多仁照廣先生が それら実務の苦難を講演した。
全国において、古文書・公文書のデジタル撮影の事例説明会はそれが初めての出来事であり、特に注目を集め、当社はそれら情報をいち早く「共有」が出来た。

多仁照廣先生と国際マイクロの創業者(父)は、
50年以上関わりを持っており、「古文書のデジタル化」という業界初の取組みを行っている多仁照廣先生から会長 森松義喬へ「デジカメ撮影技術」(多くの失敗談等も含めて)の情報を共有して戴いていた為。

★★「失敗の数 世界一位」、それら失敗のひとつひとつをほとんど妥協無く対策を行う。
「高品質化を維持する仕様書の作製」が可能になり出来るようになる。
それは、他の中央官公庁アーカイブズの仕様書作成に寄与する基盤となり、現在の歴史資料のデジタル化の仕様書の中にも多く生きている。

※8 多仁照廣先生 講演会後の討論会の記録(当時注目をあびた最先端の事例)

[http://www.jsai.jp/pdf/+43.44\(07\)kaihouKarasuno.pdf](http://www.jsai.jp/pdf/+43.44(07)kaihouKarasuno.pdf)

※8



●模範となる先進的な取組:

「カラーマネジメントの概念」を「ファイリング業界」に導入:
「古文書のデジタルカメラ撮影」には、現在は必要不可欠な「カラーマネジメントの概念」。
それが当初「ファイリング業界」には無かった。
当社はすでに出来上がっていた「印刷業界」の「カラーマネジメントの手法」を導入した。
それが現在のファイリング業界の基盤となって現在各アーカイブズデジタル化の仕様書に生きている。

●中小企業の管理体制を大企業レベルに:

中央官公庁等の入札の参加条件に「第三者認証」等が明記された。
かつて多くの中小企業においては、大企業の管理体制とは比べ物にならないほど距離がある組織が多かった。
しかし、代表森松氏による経営者 青年部の会等における啓蒙活動やHPIによる情報の公開等を行い、それにより、早い段階で「管理体制の第三者認証」に踏み切った青年部の多くの会社は、大企業と同等レベルの管理体制が構築出来たため、デジタル化事業の大きな促進とその継続にも繋がっている。

●模範となる先進的な取組:

「5G」「6G」時代に対応したデジタル画像閲覧:
先駆けて その仕組みを構築(2019年~)。
2020年3月 高速・大容量が特徴の次世代通信規格「5G」のサービスが開始される。
それを当社は早くから事前に予測し、容量の重い超高精細画像でも時間がかからずに、スムーズな閲覧が可能となった。

・これまでは
ダウンロード時間が長いため、低画質かつ低容量の画像参照とせざるを得なかった。

・これからは
ダウンロード時間が短いため、高精細かつ大容量の画像参照が可能となった。

サービス運用開始に先駆けて「5G」等に対応したデジタル画像作成・閲覧の仕組みの構築。

それと並行して

- ★A: 超高精細カメラ 1億5000万画素 (PHASE ONE社 IQ4 100MP) を先駆けて導入
- ★B: 超高精細スキャナの導入 (アイメジャー株式会社 RPS-4800) を先駆けて導入
- ★C: 高速な WEB 運用に対応した閲覧ビューワー (km-i-view) を先駆けて開発 等

★模範となる先進的な取組（詳細A）:

1億5000万画素の超 高精細 カメラ（PHASE ONE社 IQ4 100MP）を導入。
（最新機種で、世界中のプロでも使用実績が少ない）

当社ではこれまでも高精細カメラは早くから導入していたが、
原本の再現性に不安が残る、撮影スピードが遅く資料へ負担がかかる、といった点が懸念されていた。
最新の1億5千万画素の超 高精細 カメラを導入することでこれら懸念の多くを払拭。

- ・1画像あたり1～2秒で撮影できるようになり(従来品は60～180秒で撮影)、資料への負担が軽減された。
- ・原本の再現性に優れている。超高精細カメラでは 色再現も緻密に行えるよう構築。
- ・社内外でもカラーマネジメントの徹底を図る。(従来品は、原本と撮影した画像を比較して、色使いまでも 緻密に再現できているかどうか、不安が残ったが現在は大きく減少させた)

※9 最新機種含む高画素デジタルカメラ4機種の画像品質比較

<https://www.kmsym.com/bunken/2020digital.pdf>

※9



★模範となる先進的な取組（詳細B）:

4800dpi(19億画素)の超高精細スキャナを導入。(アイメジャー株式会社 RPS-4800)
(アイメジャーの一ノ瀬社長と会長 森松義喬は二十年以上前から公私ともに情報を交換)
(世界に事例がない高性能)

当社ではこれまでも高精細スキャナ(300～400dpi)は導入していたが、
特殊資料の撮影に対応していない、操作が難しく撮影時間がかかる、といった点等が懸念されていた。
最新の4800dpiの超高精細スキャナを導入することでこれらの懸念を大きく払拭。

- ・ガラス乾板など特殊な資料の撮影が可能。画像データ処理が簡単に。
- ・さらに超高精細スキャンが可能となり、原本の再現性に優れている。
- ・スキャナー本体が大型でなく持ち運びが容易。

※10 RPS-4800 商品カタログ(アイメジャー株式会社)

http://www.imeasure.co.jp/pdf/leaf_rps4800.pdf

※10



★模範となる先進的な取組（詳細C）:

高速な WEB 運用に対応した閲覧ビューワー(km-i-view) 株式会社リゾームと共同開発。

当社ではこれまでも4G以前に画像閲覧ビューワーを開発していたが(2004年 km-view)、画像容量が重いと閲覧スピードが遅くなるため低精細画像(2000万画素程度)の閲覧しかできなかった。
さらに使用可能な画像形式もFLASH(現在はサービス終了)、JPEG、PDFのみと、お客様の都合もあり限られていた。

新しいkm-i-viewは5Gに対応しており、容量が重くとも1画像当たり約0.1秒程度で超高精細画像の閲覧が可能。
さらにJPEG、PDFに加えTIFF(非圧縮)、JPEG2000等、お客様のニーズにお応えできるよう様々な形式に対応している。

※11 当社開発 ビューワソフト

<https://www.kmsym.com/kmview/top.htm>

※11



●模範となる先進的な取組:

開発案件の受賞:

◆当社にて開発している特許案件の一つが平成21年 新宿区優良企業「優秀賞」を受賞。

※12 「新宿活き活き経営賞」として評価

<https://kmsym.com/iitai/ikiiki.jpg>

※12



継続性

- 継続性:
 - ・長期にわたり当該活動を行っている
 - ・継続性のある仕組みづくりに寄与している

●長期にわたり当該活動を行っている:
【参考情報の公開】社内外にて提供した情報量:
1985年 森松義喬氏(現在58歳)は日本大学経済学部卒業後(創業社長は父 森松幹雄)入社。
中央官公庁アーカイブズ所有の「貴重な記録」の「マイクロフィルム化」業務と平行して、
1989年の10ヶ月 勤務時間後に 千代田区水道橋の大原学園にて「情報処理」を学ぶ。
「コンピュータによる未知の可能性」を国内の「デジタル化の実現」に繋げて行く。

1995年のウィンドウズ95以降、火急国際マイクロに富士通のパソコンを導入して様々な実験を繰り返す。
中央官公庁等所蔵「貴重な記録」の仕様書の作成から協力し、デジタル化とアナログ化の長所・短所を
調査・確認し、国内外情報の収集をいち早くHPを作成して公開。
新しい「情報参照会」の報告等も始める。

※13 公開を開始した「参考文献」は多くのアーカイブズと全国のファイリング業者等が参照。
HP(グレー以下)好評。

<https://kmsym.com/bunken/itiran.htm#002>

※13



●継続性のある仕組みづくりに寄与:
大企業の下請けを早々に脱却:
官公庁の入札にて「記録のデジタル化」の実務を全う出来る専門技術者は、ほとんどの場合、中小企業の
技術者が末端にある。
中小企業の優秀なデジタル化に関わる専門技術者が、内々に大企業の下請けとなる現状が多々ある。

森松義喬は「官公需適格組合」により、大企業のみ入札となる官公庁のAランク入札の
デジタル化業務「国立国会図書館大量電子化」へ、参加した組合を入札業者として「落札」を実現。
多くの中小企業からの「称賛」を受ける。

業務の実現力を持つ中小企業が、大企業が伝票を通すのみの丸投げの(下請け)と成る仕組みを排除す
る事例(関東地区では特に珍しい)となった。

●継続性のある仕組みづくりに寄与:
アナログ・デジタルの比較情報の調査と公開:
「記録情報」の「保存」と「活用」の双方の長所を活かす機材等を設置(欧米機器)。
「デジタル情報」と「アナログ情報」双方の「長所」と「短所」、海外情報をHPにて公開。
(調査は専門家数名と国内外の情報を収集)
新しい「デジタル化の機材」と新しい「アナログ対応の提案」、双方の研究と実現をいち早く対応し、
500年の未来から静観する「理想のアーカイブス」を追究してゆく。

※14 欧米と国内の情報を収集して公開

<https://kmsym.com/polycom/polycom2.htm>

※14



●長期にわたり当該活動を行っている:
国内 TOPの技術点:
新しい入札制度・総合評価点制度にて(2009年～)最高技術点を取得。
(9社中5社は店頭公開企業)
「ファイリング業界」には「総合評価点制度」はまだ馴染みが無い。
しかし「ゼネコン業界」で見直される「丸投げ禁止」の新しい入札制度。
「ファイリング業界」は現在も大企業からの丸投げ(内々による)や 資本注入が横行している。

当社にて「総合評価点制度」をwebにて図解で説明。(HPIにて)
2009年の社会保険庁「台帳の電子化業務」の入札においては、大企業をふくめて当社は国内TOPの
技術点・評価点を得る。
国内外のデジタル化の実力をもつ中小企業、その不可能を可能とする事例となる。

※15 デジタルファイリングの業界の未来を造る入札形式「総合評価点制度」の啓蒙。

<https://kmsym.com/sougouhyouka/sougouhyouka.htm>

※15



●継続性のある仕組みづくりに寄与:

資材販売部を1994年に始動(当社へのご要望にお応えして)
それらはフィルム・紙資料等の記録資料に必要な不可欠な保存ケースや特殊キャビネットを全国のアーカイブズだけではなく、全国の同業者に卸販売を実施。
創業者の方針:【儲けすぎない損しない】を遵守し企業の延命を図っている。
※16 当社HP表紙の中段より資材販売の情報

<https://www.kmsym.com/#shizai>

※16



●長期にわたり当該活動を行っている:

国家プロジェクトを実現可能な技術力を持つ 唯一無二の会社:
古文書は全国に20億点存在、と言われている。
世界最高峰の識字率の各地にある日本人により各地 47都道府県にある膨大な過去の情報。
しかし今、各地の過去の記録は「廃棄や経年劣化等」、崩壊の危機にある。

当社が持つデジタル化の技術(撮影方法やソフト等を含めたノウハウ)を47都道府県にある素人に教える仕組みを実行する。
「地方の創生」の核として「各地方の過去情報」を「各地方の未来の商い」に有効活用するべく進めてゆくプロジェクトが必要不可欠である。「温故知新の実行」

各県の健全な潜在的労働力(シルバー人材・障がい者人材・専業主婦等)に当社が各県プロに統一した高品質なノウハウを提供。仕様書・指示書等を作成できる当社技術を国内の潜在的労働力へ加速度的に伝授させる仕組み作りが可能。(国内同業者社長の多くの同意を得る)

当社では既にAI(人工知能)による古文書の翻刻の仕組み作りに参画。
「温故知新の実行」による「日本経済の復活」を厚生労働省等官公庁・与野党代議士に提案。

●国家プロジェクトを提案できる国内TOP・唯一無二の国際マイクロ: 下記

- ★A: 貴重資料の取り扱い能力
 - ★B: デジタル化の対応能力(300人の素人のセミプロ化に成功…1~3か月)
- ※17 与野党への提案中の一部

<https://kmsym.com/bunken/201901kms.pdf>

※17



★長期にわたり当該活動を行っている(詳細A):

歴史資料の扱い方(宮内庁 御用達・徳川博物館 御指名):
の「古文書の撮影会社」として宮内庁様から30年以上の御用達会社。(2社のうちの1社)
徳川博物館様からは撮影者の技能を認めて戴き直近5年以上にわたり御指名を戴いている。
※18 宮内庁御用達・徳川博物館御指名

https://kmsym.com/k_kunai.pdf

※18



https://kmsym.com/k_tokuga.pdf



★長期にわたり当該活動を行っている（詳細B）：
国家電子化プロジェクトを外注なく対応した唯一無二の会社：
7億円におよぶ国立国会図書館大量電子化プロジェクトの全ての業務を外注無く一社で対応できる技術を要す国内外で唯一の会社。大量に処理しながら作成した超実務的なアプリケーションソフトの作成費は5千万円を超した。それらアプリケーションソフトを国への無償提供も準備している。
※米国最先端企業の取材を拒否：
米国インターネットアーカイブ社の代表K氏から当社のNDL大量電子化の作業場の見学を切望するが拒否。それほどの当社のデジタル撮影技能とソフトを国内の新規国家プロジェクトにて60～90%（それ以上は非常に高価で困難な機材が必要なので非現実的）を公開・伝授する方針で

<https://kmsym.com/top/kms%20sofuto.pdf>

※19



